

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	2791600147		
法人名	株式会社 ケア21		
事業所名	グループホームたのしい家南千里 (東)		
所在地	大阪府吹田市高野台1-6-2-101 千里高野台ハイツ1F		
自己評価作成日	平成26年10月31日	評価結果市町村受理日	平成27年3月27日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://www.kaijokensaku.jp/27/index.php?action=kouhyou_detail_2014_022_kani=true&JigyosyoCd=2791600147-00&PrefCd=27&VersionCd=022
----------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人 市民生活総合サポートセンター
所在地	〒530-0041 大阪市北区天神橋2丁目4番17号 千代田第1ビル
訪問調査日	平成26年11月17日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

家庭的な雰囲気の中で生活して頂くことを目指しています。調理・洗濯・掃除などの家事をする家事リハビリや、利用者様お一人おひとりの状態に合わせた生活リハビリを通し、ご本人がそれぞれ生活の目的・目標を持って頂けるようなグループホームにしたいと思っています。地域とのかかわりも日々の買い物や牛乳パックの回収、スタッフの健康診断での受診などできる限り地域の店舗、市民ホール、開業医、調剤薬局を使うようにしています。閉鎖的にならない様個別の外注など外注も増やしています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

マンションの1階にあり、地域の人や商店と関わりやすい環境の中で散歩や買い物に出掛けたり、中学校の福祉体験の受け入れを行い、ホームの理解と交流を深めるよう努めています。「利用者様の笑顔が第一」という理念に添って、利用者が喜ぶ事、できる事は何かを会議で話し合い、気持ちに寄り添うケアを目標に取り組んでいます。利用者が重度化する中でも排泄支援では、夜間もタイミングを図ってトイレ誘導することで失敗がなくなったり、園芸や調理を一緒に行うなど自立支援にも力を注いでいます。看取りの経験も多く、研修や医師を交えた勉強会など学ぶ機会を多く作り職員のスキルアップを目指しています。職員は利用者と同じ目線で、尊厳と感謝の気持ちで接することを心がけ、利用者が安心して居心地良く過ごせるよう支援しています。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○ 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○ 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○ 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○ 1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○ 1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、活き活きと働けている (参考項目:11,12)	○ 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない			

自己評価および外部評価結果

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	ご入居者様お一人おひとりを尊重し自分らしい生活の継続をご家族様、地域と共に見守り支援しいつも笑い声が絶えないグループホームを目指しています。法人事業所理念を掲示しスタッフが再確認しながら従事しています。	「入居者様の笑顔が第一」というホームの理念は、リビングの見え易い場所に掲示し職員は日々意識しながらケアに取り組んでいます。ミーティングや会議の中で入居者の笑顔を引き出しているか、理念に添ったケアが成されているかを確認し、新任職員にも理念について説明しています。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	日常的に近隣の店舗に買い物に行っています。地域の市民ホールでの牛乳パック回収に協力。散歩等を通して地域の方との交流を持つようにしています。また地域の行事に参加するように努めています。	地域の盆踊りに参加したり、買い物は地域の商店へ立ち寄り、散歩中に挨拶を交わすなど関わりを持つよう努めています。地域の健康教室のトレーナー依頼を受け、開催時は担う予定です。また近隣中学校の体験学習も受け入れています。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	地域、ご家族様に運営推進会議に参加して頂き認知症等について説明を行っている。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議を2ヶ月に一度開催しその時に利用者様の状態変化等を説明している。その中で助言等を頂き、利用者様にとってより良い生活が送れるように活かしている。	会議は、利用者や家族、地域包括支援センター職員、介護相談員の参加を得て2ヶ月に1回開催しています。行事の様子を写真で知らせ、ホームの状況を報告しています。職員の採用状況について知りたいとの意見があり、面会時に新任職員を紹介する体制をとっています。会議の案内と議事録は家族全員に知らせています。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	地域包括センター、社会福祉協議会、などからの情報やアドバイスなどを頂き協力関係を築くように努力している。	市からの派遣で介護相談員が月2回訪問されており、意見交換や記録を通して密に連絡を取っています。市の取り組みである音楽療法を積極的に取り入れ、介護保険事業者連絡会に参加し連携や情報交換を行っています。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束の研修を全ての職員が研修し理解を深めています。その上で安全面を優先しなければならない場合など、事前に家族様に了解を得て対応することもあります。また環境面の事もあり施錠をしています。	身体拘束についての法人研修に代表者が参加し、ホームで伝達研修を行っています。日々の業務内で聞かれる「ちょっと待って」等の言葉も行動抑制に繋がることを認識しながら話し合い、利用者に寄り添い本人が納得できる関わりに繋げるよう努めています。防犯上フロア入り口は施錠していますがユニット間は行き来できるようになっています。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないよう注意を払い、防止に努めている	虐待防止は、全ての職員に対し研修し、理解を深めています。また、利用者様お一人おひとりの尊厳について守れるよう努めています。		

グループホームたのしい家南千里（東）

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	現在、3名の入居者様が成年後見人制度の活用されています。また職員も成年後見人制度の理解を深めるようにしております。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又はや改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時には、会社・事業所の理念、運営方針、金銭面などを十分に説明し納得頂ける様努めています。また、誤った理解のないよう必要に応じて何度でも説明した上で、契約を行っています。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族様との連絡を密にし、また運営推進会議に出席して頂き意見、要望を出して頂いています。玄関に意見箱をおいています。	利用者の意見は介護相談員や運営推進会議で聞いています。家族の面会時にはコミュニケーションを取り要望を聴き取るよう努めています。年1回満足度調査アンケートが実施され、結果について職員間で改善点を話し合っています。ケア方法やかかりつけ医の意見など伝えるべき事柄を速やかに家族に知らせ家族と相談しながら支援しています。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	管理者は、月1回の施設会議を開き職員と意見・提案を反映している。常に意見・提案・要望が言える環境にし反映させるよう努めています。社長ダイレクトの業務改善が提案できるシステムがあります。	毎月の全体会議、ユニット会議で職員は活発に意見交換しています。管理者は利用者の対応等、現場の意見を聞いて運営に反映するよう努めています。また日頃から職員に声をかけ意見や提案を出し易い雰囲気作りに配慮しています。年1回の定期的面談に加え、随時の面談も行い意見を聞いています。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	会社はパートタイマーから正社員への登用、リーダーを目指せる体制を作っている。処遇改善についても積極的に実施している。定年制が2014年4月から撤廃された。変則勤務の為大変だが希望休、有給、季節休等とりやすい環境に努めている。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	中途採用者にも4日間の研修を義務付け職員定着のための努力をしている。勤務調整を行い、社内外の研修に参加しやすい環境に努めている。研修・受験の資格のある職員には参加を促し、スキルアップにつながるよう配慮している。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	地域のグループホーム連絡会に参加している。今年は事例研究会も開催参加の予定である。		

グループホームたのしい家南千里（東）

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	本人・家族様の不安・要望を重視したアセスメントを行い、職員間情報を共有し支援している。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ホームを見学して頂き施設の雰囲気を感じて頂き、面接・契約時に現状・困っている事・希望等をお聞きします。ご本人をだまさず入居できるよう相談し実施している。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	本人・家族様の不安・要望・現況に沿った介護ができるか判断します。対応出来ない時は他の施設を紹介します。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	本人の能力をアセスメントで把握し役割を持って生活できるよう支援しています。人生の先輩として尊厳し、その人らしさを失わないように支援します。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	入居時にご本人ご家族様、職員が協力し、ご本人の生活を支援していきたいと願っています。日頃から現状をお話し、また月に一度近況報告をしています。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	日頃から何時でも面会に来て頂けるようお願いしています。生活暦・趣味を聞き楽しんで過ごして頂けるよう心掛けています。	利用者の以前からの友人が遊びに来られ、居室で気兼ねなくゆっくりと過ごしてもらっています。買い物によく行ったという話を聞き、近くのスーパーに出掛けています。個別外出も出来るようになっているので今後行きたい所や懐かしい場所を聞き、付き添いの支援をしていく予定です。	現在、外出できる体制が整いつつあるようですので、予定されている思い出の場所への外出が実現できることを期待しています。
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	入居者同士が相互理解できる様、孤立しない様に職員が声かけ・雰囲気作りに努めています。		

グループホームたのしい家南千里（東）

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	サービスが終了しても交流はあります。依頼があれば相談・支援をしたいと思います。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	毎日の生活の中で利用者様の様子をよく見て、訴えを傾聴します。職員で対応を検討し、本人希望に添った支援をします。	入居時に聴き取った生活歴や好み、希望の生活をフェイスシートにまとめ、アセスメントシートに思いを記録しています。入居後日常の言動で意向につながる項目を日々のケース記録に記載し、職員間で共有しながらカンファレンスでも話し合い全員が理解、把握できるよう努めています。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご本人の生活歴や現状を聞き、著しい環境の変化がないように注意します。できる限り馴染みのものを入所時は持ってきていただきます。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	介護記録・職員間の申し送りなどで、心身の変化に注意し情報を共有しています。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	3か月に一度は必ず、またそれ以外にも随時に、ご本人の現状に応じ、カンファレンスを開催、家族への説明、相談をし、そのときのニーズに応じた計画を立て直します。	介護計画は利用者、家族の希望を基に職員の意見を集約し、計画作成担当者が作成しています。3か月に1回日々の記録を参照してモニタリングを行い、会議を開いて話し合いながら個々の現状に沿った計画になるよう努めています。計画の見直しは訪問看護師や医師の指示も加味し、3～6か月で行っています。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個別の介護記録やチェック表を共通の情報とし、重要なことは口頭でも申し送ります。介護計画にも反映します。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	利用者の現状に応じて柔軟な対応をするとともに、公平さを考える時には他のサービスを紹介しています。		

グループホームたのしい家南千里（東）

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域との交流を深め、地域の方々から行事・催し物を紹介して頂き参加しています。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入居時、ご本人・家族様に提携医を説明し、納得・了解して頂き月3回の訪問診療をお願いしています。他科の受診が必要な時は紹介状をお願いし、早急に適切な診療を受けています。	入居時に以前のかかりつけ医を継続できることを説明し救急搬送時の希望の病院を聞いています。協力医は月に3回往診があり、結果を記録し特記事項は家族に伝えています。協力医以外の通院は家族対応ですが、利用者の状況等を伝え連携が取れるよう努めています。その他訪問看護が週1回あり、訪問歯科、眼科は必要に応じて受診してもらっています。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	訪問看護師が週1回健康管理をし、常に状況に応じ職員からの相談や提携医との連絡を密にし病状の説明をしています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院中のご本人様に面会したり、家族様と医師の説明を聞き、退院後の生活がスムーズにできるようにしています。病状によっては訪看の協力を得、早期退院に努力します。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入居時に終末期の希望を、ご家族様・提携医・施設の3者面談で話し合います。現状が変化する都度、3者で話し合います。ご家族様の意向を大事にしています。	入居時に重度化の指針について説明しています。重度化した場合は再度家族と主治医で話し合いの機会を持ち、今後の暮らしについて方向性を決めていきます。今までに何度も看取りの経験があり、家族の意向に沿った支援ができるよう考えています。職員は終末期ケアについて研修を受けたり、かかりつけ医の勉強会も開かれ学ぶ機会が多く、方針についても理解しています。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	入居者様の緊急や事故発生時のマニュアルがあり、職員は初期対応の研修を受けています。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	マンション住民とともに消防署の協力を得て立会いのもと年2回の消防訓練を実施しています。緊急時のマニュアルを職員に周知しています。	年二回の消防訓練は建物のマンションと共同で昼夜想定で行い、一回は消防署立ち合いの下で行われています。訓練時は近隣へ案内を配布し、運営推進会議で報告しています。水・米等の備蓄や非常袋も用意しています。	

グループホームたのしい家南千里（東）

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	入居者様の尊厳を尊重し、プライドを傷つけるような対応をしないように心掛けています。職員は個人情報保護の研修を受講しています。	フロアリーダーがマナー研修を受け、職員に伝えていきます。利用者には目を見て話し「ありがとう」の言葉を忘れないよう心がけています。3月より自己チェック表を作成し、適切なコミュニケーションが確立できるよう努めています。不適切な対応があれば、管理者やリーダーが注意し改善するよう促しています。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	職員は利用者様が自分の思いを話せる雰囲気作りにも努めています。その思いを極力実行するよう努力します。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	個々の生活リズムに合った対応に心掛けています。個々に合った催し物を探して参加します。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	1ヶ月に一度の訪問理美容を利用し整容に努めています。起床時や臥床からの離床時の整容を実施しています。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	管理栄養士の考えた献立を職員が作っています。季節の行事や冬には入居者様の喜ばれるメニューを考え手作りしたり、外食にも出かけています。食事の準備や後片付けは役割を持って入居者にさせていただいています。	業者の献立に添って手作りで提供していますが、利用者の希望を聞きながら適宜変更しています。行事食やウナギや流しそうめん等の季節に困ったメニューを取り入れたり和菓子を添えるなど、食事が楽しくなるよう工夫しています。利用者には下ごしらえや洗い物等のできることに携わってもらっています。職員は利用者と同じものを団欒しながら摂っています。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	栄養士の作った献立で栄養バランスはとれています。水分は計量し、必要な分量が飲めるよう促し、記録することで健康管理を行っています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後の口腔ケアの実施をしています。週一回希望される方には訪問歯科の衛生士による航空ケアをしてもらっています。		

グループホームたのしい家南千里（東）

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	排泄リズムを把握し、失禁のある入居者にもすぐにパットやリハビリパンツを使用するのではなく誘導による排泄支援を行っています	個々の排泄時間を介護記録に記し、排泄パターンを把握して、オムツは使用せずトイレでの排泄を支援しています。夜間も入眠後のタイミングを考慮して誘導することで失敗がなくなった事例もあり、排尿量や個々の負担を軽減できるよう最良の方法を話し合いながら支援しています。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	乳酸菌飲料を週3回、ヨーグルトを週4回飲食することで便秘の予防に努めている。頑固な便秘については訪問のかかりつけ医に相談し下剤を処方してもらっている。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	週2回以上を基本に入浴してもらい、希望のある人には随時入浴してもらっています。時間は、シフトの担当の時間内に限られ希望にはそえていません。	毎日入浴の準備を行い、午前と午後に分けて週2～3回入ってもらっています。個々に時間や希望を聞き、拒否傾向の方も声かけの工夫をして週2回は入ってもらっています。湯は毎回入れ替え、入浴剤を使用したり季節湯を取り入れゆったりと寛げる時間になるよう配慮しています。状態に応じてシャワー浴や足浴、清拭を行っています。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	室内の温度調整や寝具の調整など安眠の支援をし、眠くない日は時間に縛られることなく寝てもらおうようにしています。安眠が取れるよう日中の活動も考え支援しています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬情のファイリングやお薬変更時の情報共有を行っています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	アセスメントやケアプランにもなじみの生活を反映しています。役割や楽しみごとが多くある生活を目指して支援しています。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	園芸や散歩、買い物などは日常的に行い、個別外出でモノレールにのってショッピングモールに出かけたりしました。また、音楽療法のイベントにも出かけました。紅葉の時期にまた紅葉狩りに出かける予定です。	日常的には園芸の水やりや近隣の散歩に出掛けています。桜やつつじ等季節の花見、買い物、地域で行う歌のコンサートなど介護相談員の協力も得ながら出掛ける機会も増えています。今年度になり、外出できる日も増え、今後も重度の方も含め外出の機会を作りたいと考えています。	

グループホームたのしい家南千里（東）

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	所持金は事務所で管理しているが外出などの時は自分で買いたいものは買えるように支援している。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	家族からの電話の取次ぎ、手紙の取次ぎを行い、手紙は返事を出せるよう支援している。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	空調やにおいに気を付けて快適に過ごせるようにしている。	玄関は広く飾り棚が備えられ、造花や置物が可愛らしく飾られています。廊下には行事の写真や季節に合った飾りが掲示され季節感を出しています。リビングはリクライニング式のソファがあり、ゆったりと寛げ、テーブル配置は利用者の状態によって変えるなど工夫されています。換気や掃除に留意し清潔な共用空間になるよう配慮しています。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ソファをフロアに置いている。食事の座席にこだわることなくコミュニティーができるよう配慮している。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居時はなじみのものの持ち込みを依頼している。写真や作品を部屋に飾り心地よい部屋作りに努めている。	入居時にベッド、たんすなどの家具はできるだけ使い慣れたものを持ち込んでもらうよう家族に相談しています。花や写真、以前描いた絵など趣味の品も持ち込まれ、個性的な居室となっています。利用者の状態や希望に合わせ畳敷きの居室もあり、レイアウトを利用者と一緒に行い安全で居心地よく過ごせる居室作りを支援しています。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	トイレへの同線指示の表示など見守りで移動できるよう考えている		